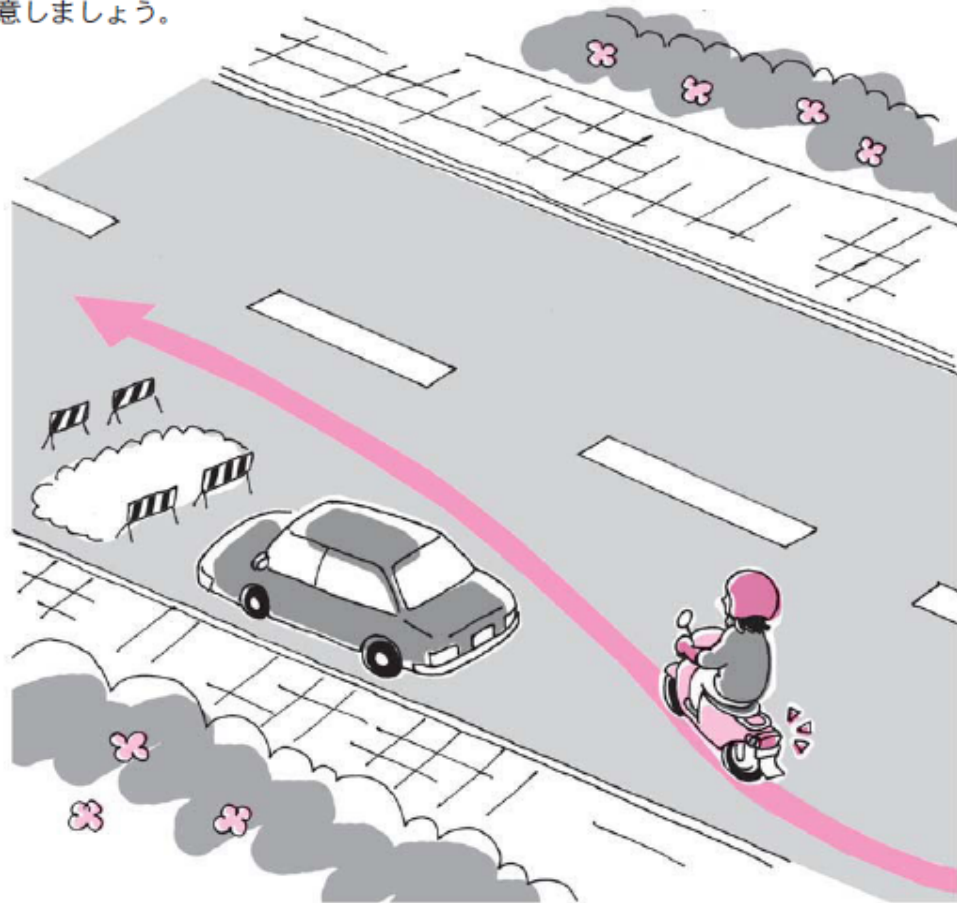


⑦ 走行するときの障害物

バイクの法定最高速度は、50cc以下の場合時速30キロメートル、50ccを超えるバイクは時速60キロメートルです。バイクは道路左側の左よりを走るのが通常です。そこには、いろいろな障害物があります。

1 障害物

道路には駐車している車や工事中のところもあります。こんな時には、近づき過ぎてから進路を変えるのではなく後方の安全を確かめて早目に合図を出し、もう一度後方の安全を確かめてなめらかに進路を変えましょう。対向車にも注意しましょう。



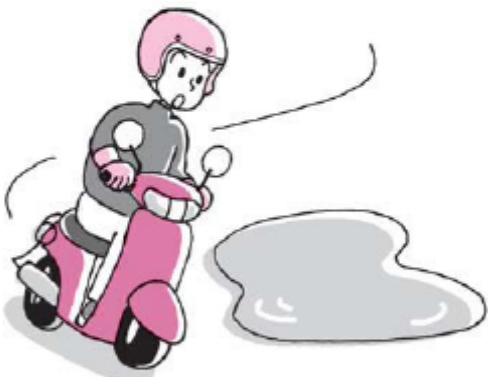
2 砂、泥、落葉

たかが落葉くらいと考えがちですが、落葉や泥、砂等があるところでブレーキをかけたり、曲がろうとしたりすると、スリップしてバランスをくずし、思わぬ危険をまねくことがあります。このような物のある場所は、まわりの安全を確かめてこれをさけて走るか、ゆっくり走ってください。



3 水たまり

穴ぼこや水たまりがある道路では、その大きさにもよりますが、スピードを落としてゆっくり通過するか、後続車やまわりの安全を確かめてから、これをさけて走ることです。



4 じゃり道や悪路

舗装されていないじゃり道や悪路では、ゆっくりした一定の速度で、途中でブレーキをかけたり変速しないで走ります。



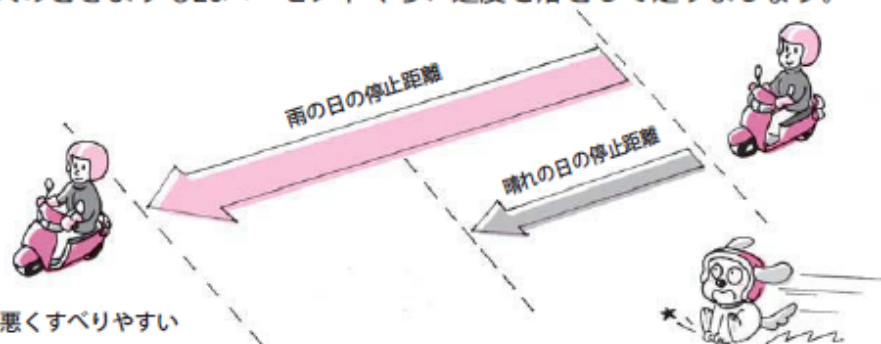
⑧ 雨降り時の走り方

1 視界が悪くなる

雨の日は視界が悪くなります。前方の交通や道路の状況をよく確かめて、慎重な運転を心掛けるようにしましょう。また、他の通行者も同じように視界が悪くなっていることを忘れないでください。

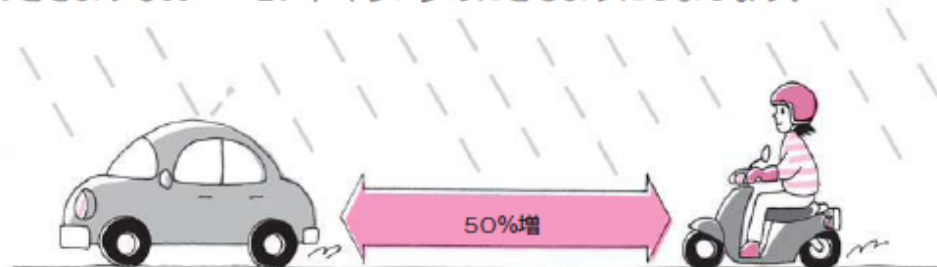
2 減速して走る

雨の日は、視界が悪いうえに路面も滑りやすく、停止距離も長くなりますから、晴天のときよりも20パーセントくらい速度を落として走りましょう。



3 車間距離を多くとる

雨の日は、路面も滑りやすく停止距離も長くなりますから、車間距離は晴天のときよりも50パーセントくらい多めにとるようにしましょう。



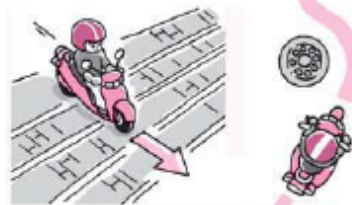
4 「急な操作」はしない

「急発進」「急ハンドル」「急ブレーキ」など、急な操作は横滑りや転倒の原因になります。エンジン・ブレーキを効果的に活用し、ブレーキを数回に分けてかけるなど、運転操作の基本を守って危険を避けるようにしましょう。



6 レールの上などは避ける

鉄板やマンホールのふたの上を通るときは、速度を落として一定の速度で通行しましょう。また、レールを横切るときは速度を落として、できるだけレールと直角に近い角度で横切りましょう。



5 深い水たまりは避ける

深い水たまりのある場所を通過すると、ブレーキ装置が水で濡れてブレーキが効かなくなったり、効きにくくなったりしますから、できるだけ避けて通るようにしましょう。



7 歩行者などに迷惑をかけない

歩行者のそばや商店街などを通るときは、速度を落として、泥や水をはねないように注意して運転しましょう。

